

発行所
片貝新聞社
〒947-01
小千谷市片貝町10367-4
TEL・FAX 0258-84-3246
編集発行人 吉原芳郎
印刷所 吉原印刷(株)
題字 黒崎敬潔氏



無病息災などを祈って 塞の神 盛大に開催される

昼夜にわたり多彩な行事展開



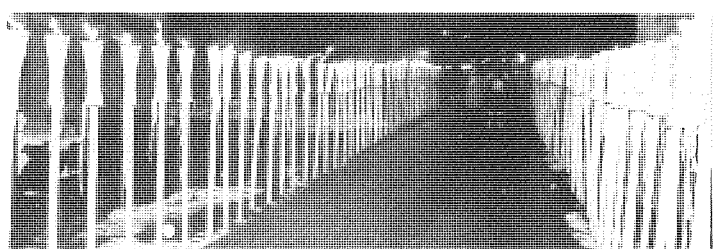
市内一を自認する大きな塞の神完成

小正月の風物詩、塞の神行事が市内各地で開催されたが、その規模や賑わいは勿論市内一、小正月の塞の神としては県下一を自認する片貝町の塞の神が、浅原神社で十五日昼夜にかけ

多彩な行事で展開された。昼の部は小若連のモックラモチ、おんまいどで幕開け。午後一時半から境内で小塞の神に点火、引き続き片貝商工振興会と煙火協会による豪華景品引換券などが入っている。福もちまきが行なわれ、ぎつしりと集まった町民が歓声をあげながら楽しんで来た。メインの夜の部は午後六時、参道にズラリと並べられたロウソクに点火されてスタート。六時半に小若連が到着。七時から挨拶、同会提供の福餅まきが行なわれた。成人を迎えた翼翔会(小林直人会長)の仕掛け花火、成人の小塞の神に点火。そしていよいよ山本真助助役(五辺)が上市内一を誇るメインの塞の神に点火され、火柱は周囲を照らし出し、集まった老若男女は火でスルメモチを焼いて食べ、火にあたり無病息災を祈願した。



福餅まき イキイキした顔、顔、顔



参道を見事に飾る



火にあたり無病息災を祈る

人の和と片貝人

NHKの行く年、来る年で浅原神社の二年詣りで百八発花火打上げの模様は放映されたこともあって、このほか、賑やかとなり市内随一の人出になった。

ここにきて十年ぶりという極大寒波に襲われ全国いたるところで交通が遮断され渋滞を起している、マスクは報じている。小正月になって暖冬で塞の神行事の開催も危ぶまれ、関係者もやきもきさせていたが、全ての行事も例年通り消化できホッとしていることだろう。

それにして秋祭りに限らず、この塞の神行事も片貝独特のまじりによって、いとも簡単に何らの支障もなく毎年行われているが、他町村の人にとってはこれが何とも不思議に映るらしい。

歴史をみると聖徳太子は十七条の憲法を制定され、その第一条で「和を以て貴し」と定めたとある。片貝以外ならその年度の担当者が何回も会合を開き、綿密な打合せをやって、はじめて実行が可能なのに、片貝では年々の担当者が順送りで行って一

片の通知で事足りる。各同級会の輪(和)ががっちり固まっていて、これが年寄りから若者に伝わるまでおこなべて一律になっている。そのうえ年に何回か級会があり

主張

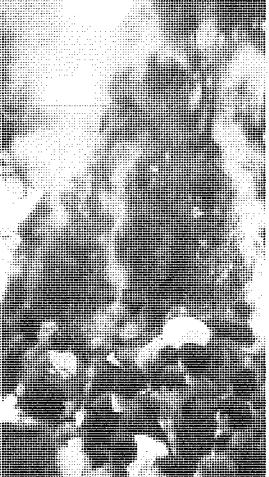
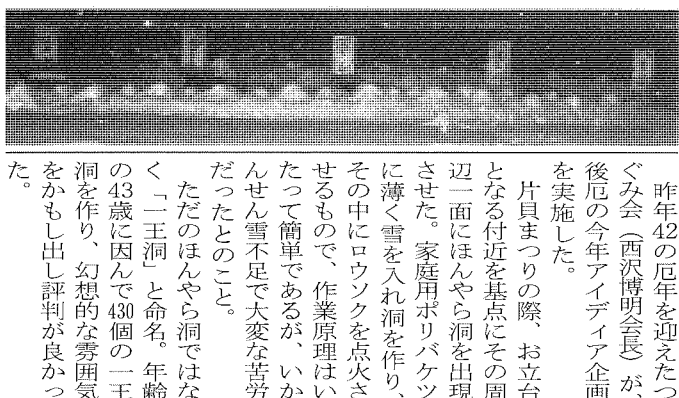
作家井沢元彦氏もある本の中でこの「和」について触れている。

一見この「和」は話し合いを重視した民主主義に似ているが、それは別物であって民主主義には基準となるルールがなければならず、その点の和の世界にはルールがなく、

何処に行くこともなく生れてからずっと片貝にだけ住んでいる、そう感じはないが、たしかにそう言われると、その通りで、自分たちだけで何かをする、ことを優先させ、他の人々をかえり見るといふ態度が不足しているように思う。

ここにきて片貝に起き一連の不祥事も、場合によってはその辺りに原因があるかも知れない。また、片貝以外からこの街に移り住むようになった人、あるいは嫁いで来た人たちから、これと同様の話を聞く。片貝人は自分の殻に閉じこもって、仲々仲間にいれてくれない、つき合い難いともいう。

やるねえ、つぐみ会。ほんやら洞出現



「窟の小塞の神」

昨年42の厄年を迎えたつぐみ会(西沢博明会長)が、後厄の今年アイデア企画を実施した。

片貝まつりの際、お立台となる付近を基点にその周辺一面にほんやら洞を出現させた。家庭用ポリバケツに薄く雪を入れ、洞を作り、その中にロウソクを点火させるもので、作業原理はいったって簡単であるが、いかせん雪不足で大変な苦勞だったとのこと。

ただのほんやら洞ではなく、「二王洞」と命名。年齢の43歳に因んで43個の二王洞を作り、幻想的な雰囲気をかもし出し評判が良かった。

「おすなのおすなの大盛況」

今年も地域に密着目指し

JA片貝町の抽せん会

片貝、高梨の両会場に1100人

おすなのおすなの大盛況

JA片貝町(佐藤仁組合長)は、新春の1月4日に農協庁舎脇の駐車場(片貝会場)と高梨支所(高梨会場)の二カ所で「新春ふれあい抽せん会」を開催して賑わった。

これはJA片貝町が昨年12月に、統一キャンペーンとして貯金の預け入れ、生活センターでの買い物、米購入、ガソリンスタンド利用の際などに抽せん補助券を発行して実施したもの。

1等八千円相当のJCBギフト券、2等スコップ又は灯油30リットル引換券、3等ティッシュボックス5箱、4等使いすてカイロと上位は豪華景品でもハズレクジなし。

初めての試みではあったが、抽せん会場のテントに隣接して休憩所のテントを設置。来場者に御酒、甘酒、カニ汁を無料でおふるまうなどサービス精神もあふれた。合わせて、一〇〇名以上も訪れる盛況ぶりだった。

かたかい春秋

昨年12月から火に熱狂する片貝ならで

嬉しい気がする。その後の情報では、どうも市当局は地元片貝からの意向を待っているらしいとのこと。ならば何故関係者はそのように動かぬのか。協議会、市議団が足並み揃えて早く取り組んで行くべきである。

勿論、目先のことだけでなく、子々孫々に誇れるような都市公園でなければならぬ。町民の英知を集めて、うるおいのある片貝町のシンボリック公園にしたいものだ。

米寿の皆さんおめでとう

JA片貝町では米日、幸男、山口ナミ(寺町、43年5月25日)、安達、43年2月19日、タキ、横山シン(寺町、43年10月1日)、貞夫、大矢キイ(五区、43年2月22日)、俊二、浅田ヨシ(五区、43年4月26日)、俊夫、五十嵐キイ(町裏、43年2月26日)、実、大矢クラ(町裏、43年3月15日)、千乃、吉井ハル(稲場、43年3月26日)、和志、本田レイ(稲場、43年4月27日)、慈子、横山トシ(屋敷、43年1月3日)、信雄、藤塚たま(屋敷、43年2月28日)、昇司、小宮マサ(四ノ町、43年2月26日)、幸夫、安達繁次(八島、43年6月14日)、哲雄、安達道子(八島、43年11月3日)、基昭、佐藤リト(高梨、43年3月31日)、六男、佐藤久司(高梨、43年5月16日)、裕之、篠田サキ(高梨、43年6月16日)、和博、水内キヤ(高梨、43年9月22日)、峰栄。

休憩所

片貝町

おすなのおすなの大盛況

中越地区バスケットボール

片貝中惜しくも準優勝

またもや小千谷に負ける

第28回中越地区中学校親善バスケットボール大会(片貝町体育協会主催)は、1月19日片貝中学校体育館に、中越地区の新人戦で上位入賞の実績のある強豪12チームを集めて開催され、片貝中学校は決勝戦まで順調に進んだものの、またもや小千谷中学校に惜敗し、準優勝となった。

片貝中学校は一回戦シードされ二回戦長岡・大島中と対戦し71(40:31)52の大差で勝ち、準決勝では三島・三島中を59(33:26)46と順当勝ちで決勝戦に駒を進めた。

決勝戦の相手は小千谷中。大会とは逆に小千谷中の3ポイントシュートがたて続けに決まり、前半戦は20対25の点差で終了。後半戦に入っても小千谷のペースが続き、49対35と県大会よりも大差で涙を吞んだ。

顧問の北見義樹教諭は「完敗、力負け。筋力アップを図り6月の市内大会から本番に備えたい」と雪辱を期していた。

この大会は片貝中学校バスケットボール部が、伝統的に強かったことから、地元民が更なる飛躍するようにとの願いを込め、毎回中越地区の強豪を集めて開催



中越地区バスケットボール大会。片貝中(左)と小千谷中(右)の試合。片貝中が惜しくも準優勝となった。

人生の節目迎えた 同級会々長の抱負

翼翔会々長 小林直人

11月より、私達翼翔会の最初の行事奉神の準備が始まりました。初めはどの様に仕事を進めればよいか何もわからず戸惑いました。15日の奉神を無事成功させる事が出来ました。これも関係者の方々、諸先輩方の御指導、御協力の賜ものおかげです。

心からお礼申し上げます。これから秋祭大祭に向け、役員を中心に準備を進めて行きたいと思っております。私達翼翔会も片貝在住の少ない学年ですので、会員一丸となって、スムーズに仕事を進めたいと思っております。翼翔会の会長に選ばれ、片貝の伝統行事に会長として参加出来る事を本当にうれしく思っております。まだまだ若輩者の私達です。不安と戸惑いの中、



皆様に御迷惑をおかけする事があると思っておりますが、町民の皆様への御支援・御指導を何卒よろしくお願い致します。

女性の厄年三十三歳を私達実生会も迎えることになりました。十五日に浅原神社に参拝し、御祈願をしたいと思います。秋に向けて準備を進めておりますが、町を離れている同級生が祭を本当に楽しみにしている気持ちも、自然と準備にも熱が入ります。会員全員で祭に参加し、会員の和を大切にしたいと思っております。

昭和30年、31年生まれの私達つくし会も本年42歳の厄年という人生の大きな節目を迎え、今までの人生に感謝すると共に、これから自己向上と社会や人のために役立つことを念頭に精進したいと心新たにしているところでもあります。この厄年をしっかりと大地に溶け込んで春を待ち託けていく「つくしんぼ」のようにゆつたりとした気持ちで、のんびり乗り切りたいと思っております。

実生会々長 安達尚子

つくし会々長 金子義明

秋の大祭には、町外会員からも故郷片貝の伝統の祭りに参加してよかったですと思われたいと思っております。この記念行事を機に、会員相互の絆をより一層深め、今後の人生の良き友として励まし、支え合って行けるよう役員一同、楽しく友情の輪を広げながら準備を進めてまいります。

町民の皆様、今後ともご指導くださいますようお願いいたします。

鳳友会々長 吉井新一郎



いつの間にか還暦を迎え、もうこんな歳に成ったのかと思うとお目出たくも有り、又お目出たくも無い複雑な心境です。我々鳳友会もどうにか役員も決定し、これから計画を立てて秋祭大祭に向けて動きだそうとしております。振り返って見れば片貝青年煙火協会は我々のクラスが最後で青年会では手におえず翌年から現在の型の片貝町煙火協会が設立さ

れ年々花火が盛大に成り喜ばしい事ですが除夜の百八発の花火を止め何年か掛けて資金を積立して鐘楼を建立したらどうか除夜には過ぎし年を思い静かに鐘の音を聞きたいと思ふ人も多数いるのではないかと、節目の年に当てるの思ひです。

片貝町二之町の米周主人吉原均氏(47)が、1月5日サンクラブで開催された消防出初式の式典席上で、人命救助の功績により小千谷地域消防本部から表彰を受けた。

吉原氏は昨年12月3日、四之町で発生した住宅三軒全焼火災の際、寝たきりとなっていた井上一氏(76)を機敏な対応で救い出したもの。

この日、吉原氏は火元となった家にたまたま米を配達に行き、玄関先で家人に

手渡して帰ろうと数歩歩いた時、後でボンという音がして、次の瞬間家の中から「火事だあ!」の大声を聞き、駆けつけると「早く水!」の声があつたので、バケツに水を汲んで火元と

思われる廊下の戸を開けて来ており、とても初期消火の段階ではなかったという。この証言からも、火事に気づくのがかなり遅くなつたために、隣家二軒に燃え移り、しかも全焼するという大火事になつたらしい。

吉原氏は外に出て大声で近所の人に「一九番通報するように指示した。すると隣の井上さん宅から「寝たきり老人がいるか助けて!」の声に、井上さ

ん宅に駆けこみ、寝ていた井上一氏を背負って燃え移る心配のない近所の家まで運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。

お手柄の吉原氏は「夢中で運んで救助した。井上さん宅に入った時、まだ火は回っていないかつたものの、異常な熱気であつたこととで、この後すぐに火が移り燃えだしたと考えられ、まさに危機一髪の状態だつた、と消防本部では語つて

いるとのこと。